

電子納品の概要

概要と特徴について

平成25年3月

北海道地方CALS／EC推進協議会



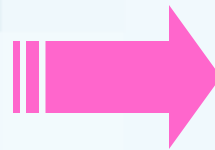
1. 電子納品とは

委託や工事で提出する最終成果品を統一したルールに従い、**電子データで納品し、それを活用すること**



従来の紙による納品イメージ

重要なもの
だけを電子
でも提出



紙: 従来通り



電子: 重要なもの

電子納品イメージ

2.電子納品導入のメリット

ペーパーレス

保管場所の省スペース化、印刷コストの低減

業務処理の効率化

容易に再利用・修正ができ、効率的な業務の実現

維持管理の効率化

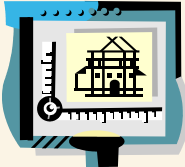
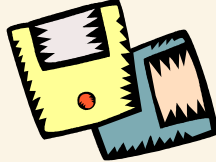
容易に検索・閲覧でき、効率的な維持管理が実現

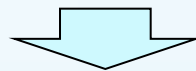
資料の冗長性

紙資料の損傷、紛失があった場合のバックアップ
⇒ 災害時における活用

3.電子データとは

既に身近な存在に

	過 去	現 在
写真	 フィルム	 デジタルデータ (デジカメ)
図面	 ドラフターによる 紙図面	 CADデータ
書類	 手書き、 ワープロ	 パソコン



作成には共通のルールが必要

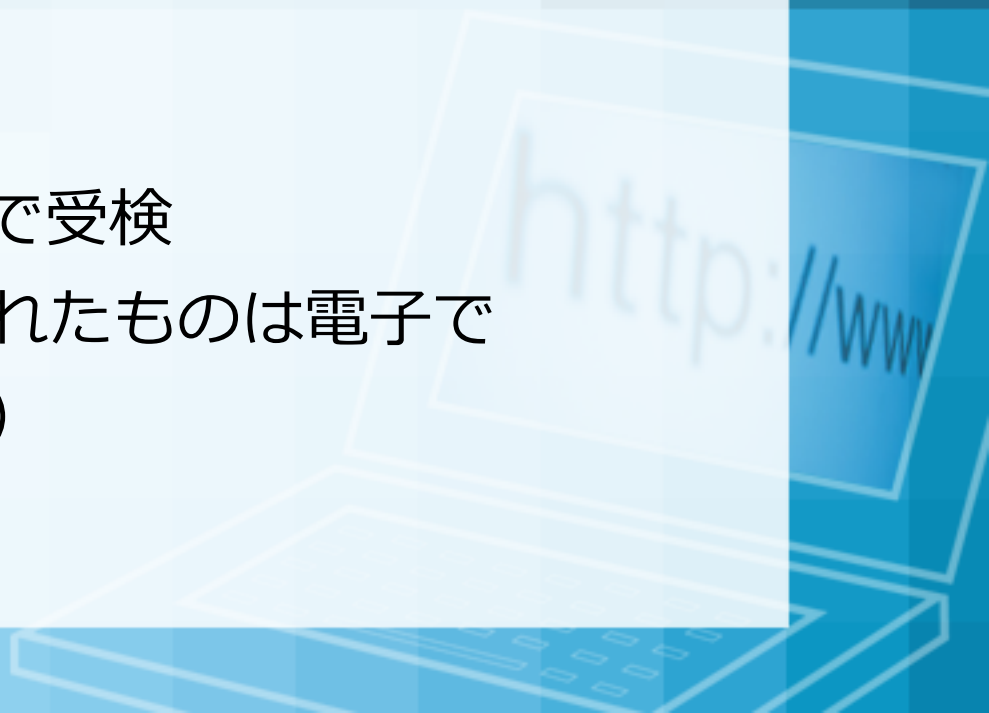
4.検査はどうなる？

委託・工事ともに

- ・ 検査方法は変更無し（紙による検査）
- ・ 電子を納めたC Dの提出は確認する。

会計検査

- ・ 変更無し
- ・ 電子しかない書類→C Dで受検
※手引きに従って納品されたものは電子で
（印刷する必要はなし）



4.何故ルールが必要なのか？

ルールがない電子データのやり取りの問題点

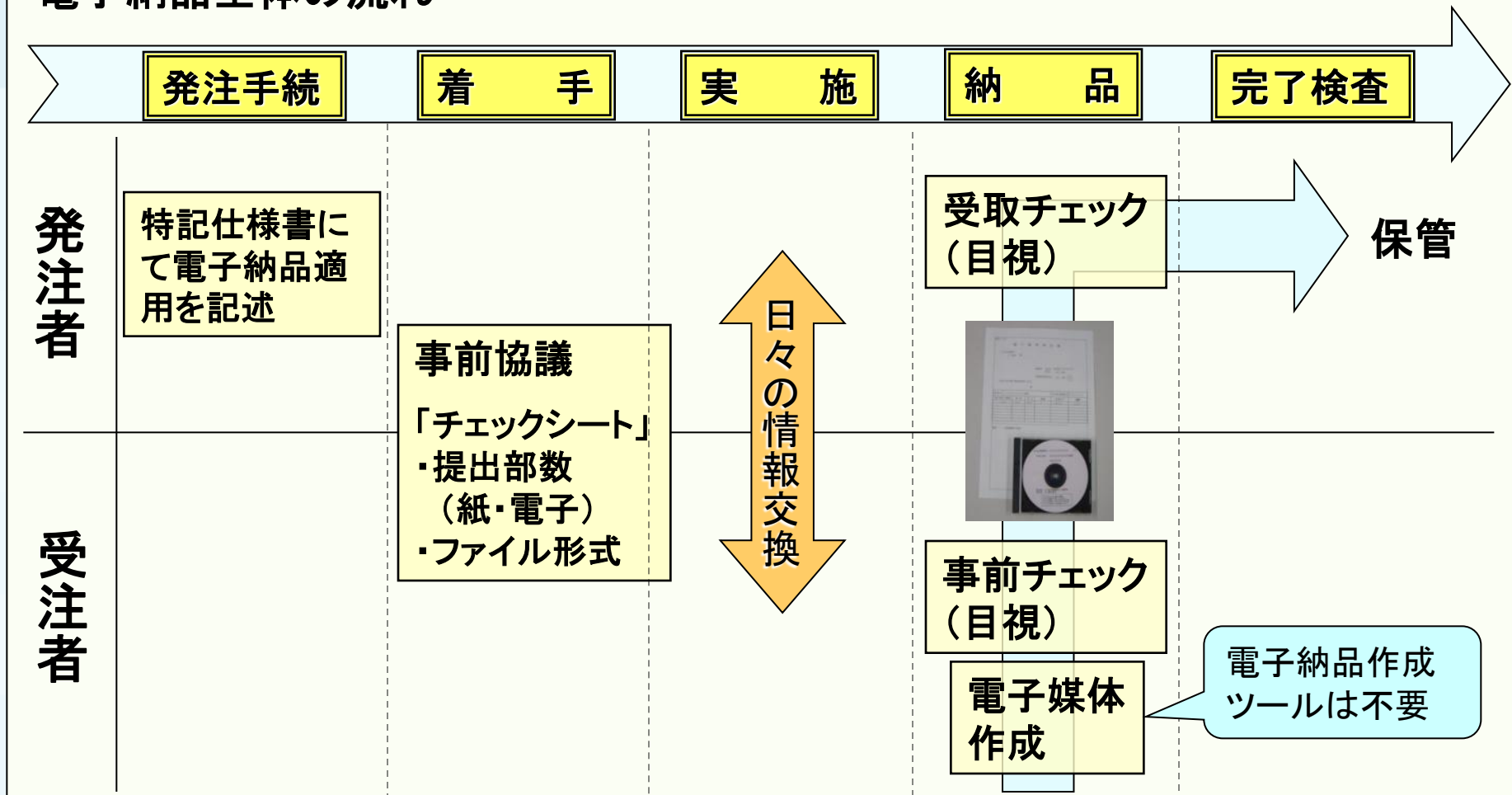
- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ① ファイル形式等が異なる | データの閲覧ができない |
| ② ファイル名が統一されていない | 検索が困難 |
| ③ 写真のサイズ容量 | |
| ・ 解像度が必要以上に高い | データ量の膨大 |
| ・ 解像度が必要以上に低い | 写真の内容確認ができない
(寸法や状況等) |
| ④ 最終データと異なるデータを受領 | 紙版との不一致 |

解決のために

「電子納品の手引き」に従い提出する。

5.電子納品の流れ（概略）

電子納品全体の流れ



6.上ノ国町の状況

平成23年4月より電子納品を開始。
問題なく、運用しているとのこと。

【業者の声】

- ・ 既に写真管理はソフトを利用していた。
- ・ 以前から電子納品ソフトを持っていた。
- ・ 写真と図面だけなので、楽だ。



従来の成果品の状況

【上ノ国町職員の声】

- ・ 町の基準は、簡単。
- ・ 難しく考える必要は無かった。
- ・ やってみれば、難しくない。
- ・ 書庫の整理ができる(これ以上増えない)。
- ・ 資料の検索が、楽になる。



電子成果品の状況